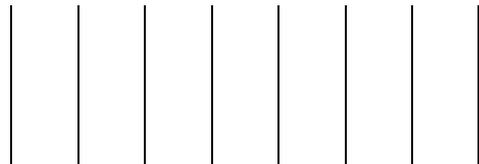
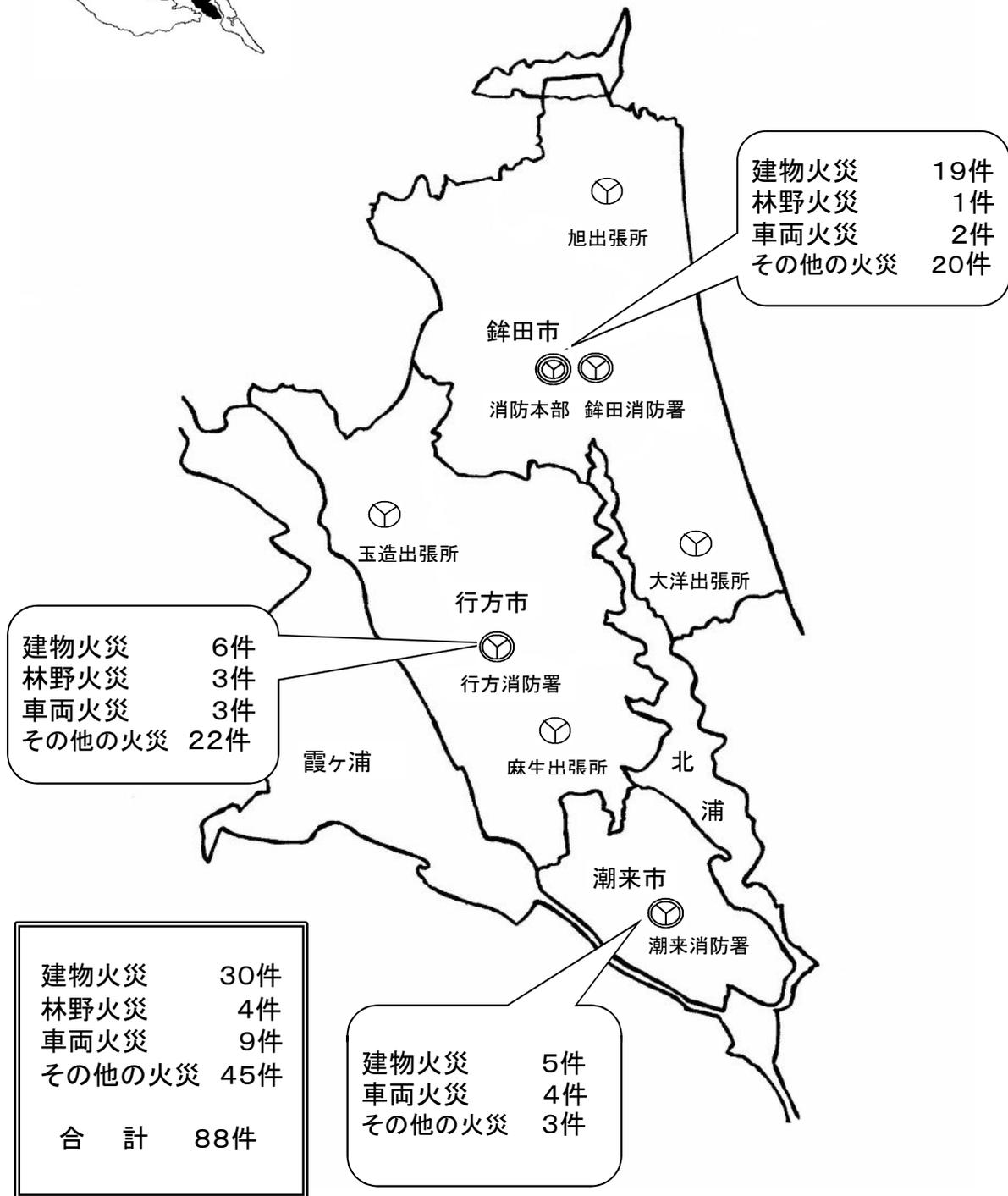


火災・救急・救助統計



火 災 発 生 件 数 調



平成24年の火災概要

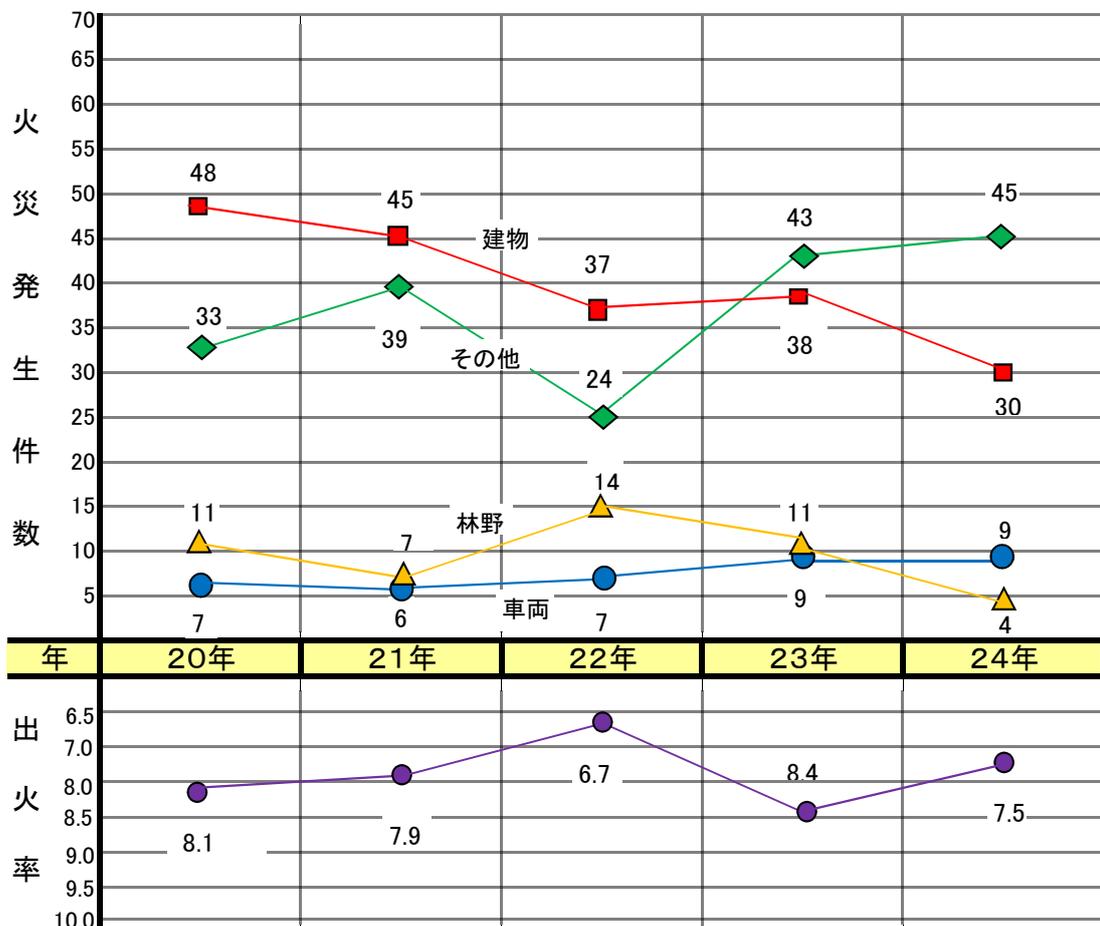
平成24年中における出火件数は88件で、前年に比して13件減少しました。火災の種別では、その他の火災が最も多く45件で全火災の51.1%を占め、次いで建物火災が30件(34.1%)、車両火災9件(10.2%)、林野火災4件(4.6%)となっています。

これを前年と比較してみると、その他の火災が2件増加しましたが、建物火災が8件、林野火災が7件減少しました。

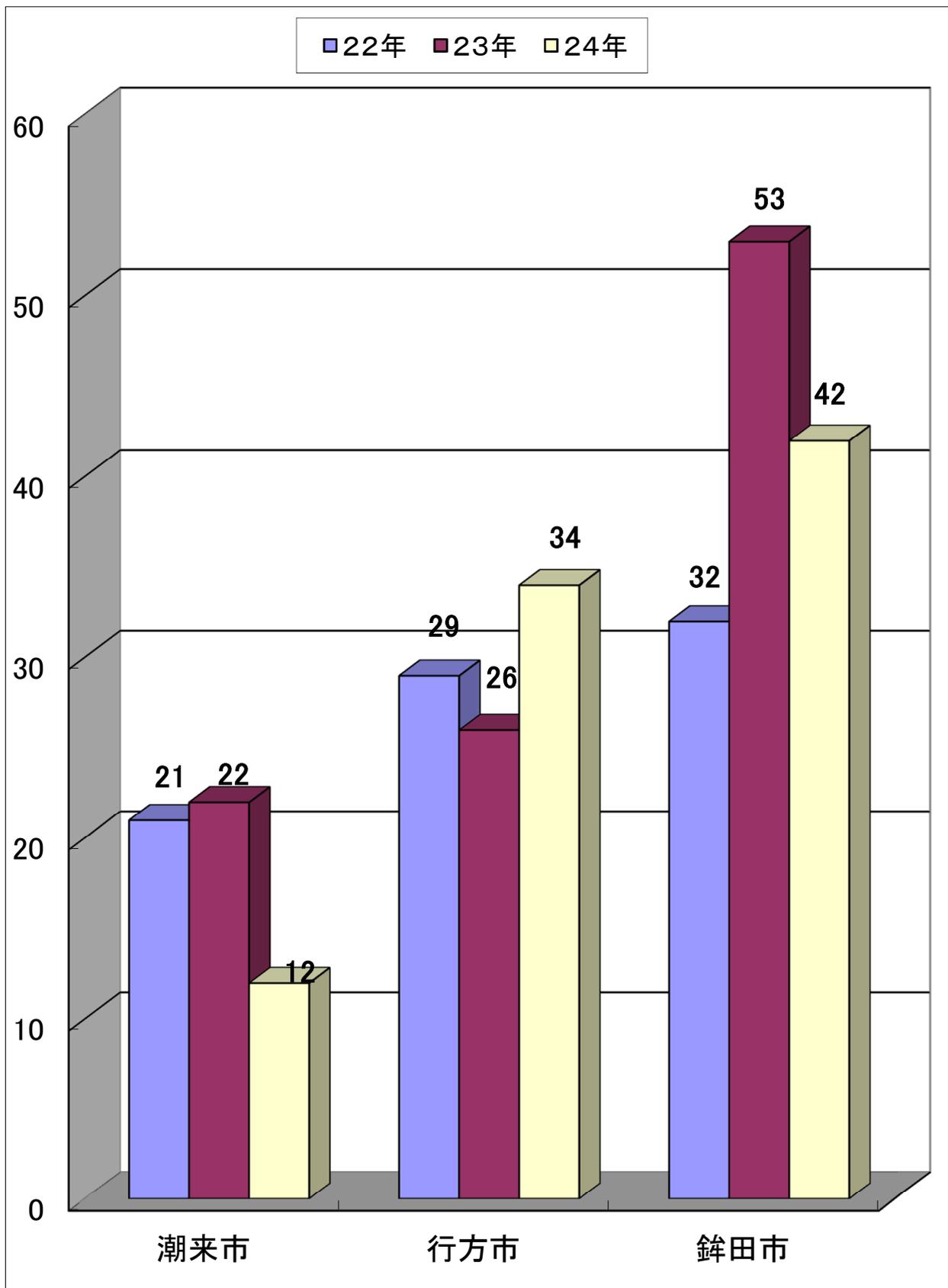
火災原因は、「たき火等」によるものが36件と最も多く、次いで「放火・放火の疑い」が7件、「たばこ」によるものが4件、次いで「風呂かまど・車両の排気管・こんろ等」によるものがそれぞれ3件の9件、次いで「溶断機・タイヤの摩擦熱」によるものがそれぞれ2件の4件、次いで「衝撃火花・石油給湯器・器具コード・陶芸窯」がそれぞれ1件の4件、次いで「不明」が24件となっています。

建物火災の特徴としては、専用住宅からの出火が14件と一番多く、これに併用住宅1件、共同住宅1件を加えると人が居住するための建物からの火災が6件にのぼり、全建物火災の53.3%を占めています。

過去5年間の火災の推移



火災発生件数の推移



火 災 発 生 状 況

管轄署 市		潮来消防署		行方消防署		銚田消防署		計		
		潮来市		行方市		銚田市				
区 分										
出 火 件 数	計	12		34		42		▲ 88		
	建物火災	5		6		19		▲ 30		
	火元の 焼損 程度	全 焼	1		4		13		▲ 18	
		半 焼	1		1		1		▲ 3	
		部分焼			1		2		▲ 3	
		ぼ や	3				3		▲ 6	
	林野火災			3		1		▲ 4		
	車両火災	4		3		2		▲ 9		
	船舶火災							▲		
	航空機火災							▲		
	その他の火災	3		22		20		▲ 45		
	爆 発							▲		
焼 損 面 積 等	建 物	焼損棟数	8		7		33		▲ 48	
		り災世帯	全 焼	1		4		15		▲ 20
			半 焼	1		1		1		▲ 3
			部分焼	1		2		9		▲ 12
	ぼ や		5				8		▲ 13	
	り災人員	全 損	5		2		9		▲ 16	
		半 損	1		1		5		▲ 7	
		小 損	1				1		▲ 2	
	焼 損 面 積	り災人員	3		1		3		▲ 7	
		焼 損 床 面 積 (m ²)	15		5		23		▲ 43	
	面 積	焼 損 表 面 積 (m ²)	302		514		3,117		▲ 3,933	
	積	面 積	6		37		145		▲ 188	
	等	林 野 (a)			19		56		▲ 75	
		車 両 (台)	4		3		3		▲ 10	
		船 船 (艇)							▲	
	航 空 機 (機)							▲		
	そ の 他 (m ²)	10,314		23,315		6,710		▲ 40,339		
死 傷 者	死 者	3		1		3		▲ 4		
	負 傷 者	3		1		3		▲ 7		
損 害 額 (千円)		35,527		13,341		183,405		▲ 232,273		
出 火 率		4.0		9.0		8.5		▲ 7.5		

備考 その他の火災は、焼損面積のみ計上し、焼損物件は記載してありません。

月別火災発生状況

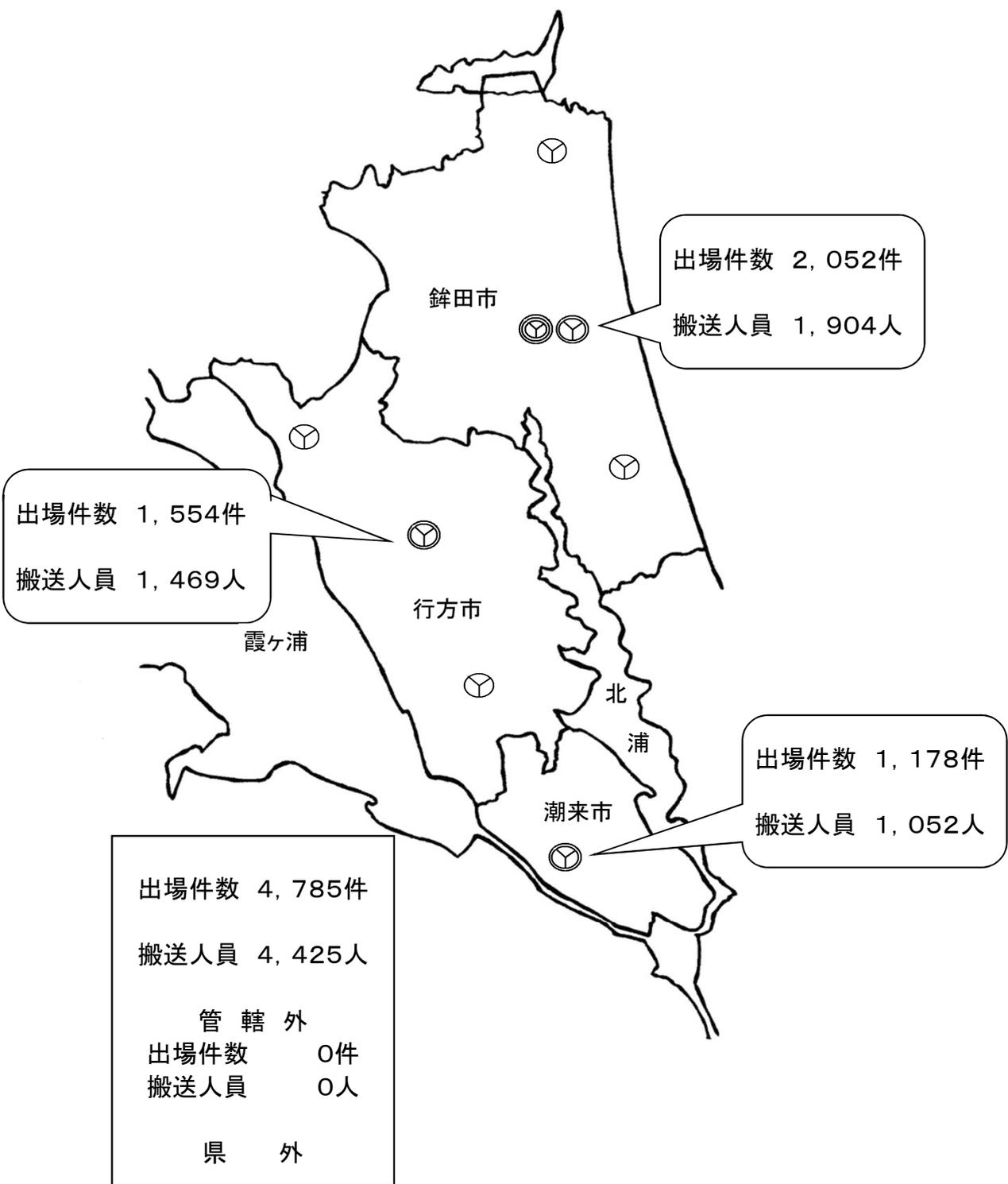
区 分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
出 火 件 数	計	15	13	12	11	4	6	9	3	2	3	4	6	88	
	建物火災	5	2	3	3	2	4	5	1	1	1	2	1	30	
	火 元	全 焼	4		3	3	2	2	2				1	1	18
		半 焼		1					1	1					3
		部分焼							1		1		1		3
		ぼ や	1	1				2	1			1			6
	林野火災	1	1	1					1					4	
	車両火災	3	3	1					1				1	9	
	船舶火災														
	航空機火災														
その他の火災	6	7	7	8	2	2	3	1	1	2	1	5	45		
爆 発															
焼 損 面 積	建 物	焼損棟数	8	2	6	8	4	4	9	1	1	1	3	1	48
		全 焼	5		3	3	2	2	3				1	1	20
		半 焼		1					1	1					3
		部分焼	2			3	2		2		1		2		12
	ぼ や	1	1	3	2		2	3			1			13	
	り災世帯	3	1		3		2	5		1		1		16	
	全 損	3			2		1	1						7	
	半 損				1			1						2	
	小 損		1				1	3		1		1		7	
	り災人員	7	2		5		3	17		4		5		43	
焼 損 面 積	床面積 (m ²)	290	33	488	252	488	301	2,041				40		3,933	
	表面積 (m ²)	29.4			64	14	0.2	22	17	1		23.4	17	188	
積 等	林 野 (a)	55	0.3	17.2			1		1					75	
	車 両 (台)	3	3	1				2				1		10	
	船 舶 (艇)														
	航空機 (機)														
	その他 (m ²)	6,652	5,786	21,357	1,254	13	430	280	800	662	2,040	25	1,040	40,339	
死 傷 者	死 者				2		1	1						4	
	負 傷 者	1	1	1				3				1		7	
損 害 額 (千円)		#####	1,547	12,101	32,374	50,173	4,747	116,121	280	121	34	1,149	2	232,273	

備考1 その他の火災は、焼損面積のみ計上し、焼損物件は記載してありません。

火元の用途別・原因別火災発生状況

火元の用途 原因	建物火災										林野火災	車両火災			その他の火災							計
	専 用 住 宅	併 用 住 宅	物 置 ・ 納 屋	作 業 所	倉 庫	車 庫	共 同 住 宅	養 畜 舎	整 備 工 場	店 舗	そ の 他	林 野 火 災	乗 用 車	貨 物 車	特 殊 車	空 地 の 枯 草 等	道 路 の 枯 草 等	敷 地 内 の 枯 草 等	田 畑 の 枯 草 等	ビ ニ ー ル ハ ウ ス	そ の 他	
たき火等	2	2									2				32	8	4	12	1	7	36	
放火・放火の疑い	6	3		2						1		1	1								7	
たばこ	1	1									1				2					2	4	
風呂かまど	3	2								1											3	
車両の排気管												3	2	1							3	
こんろ等	2					1			1						1					1	3	
溶断機	1			1											1					1	2	
タイヤの摩擦												2	2								2	
衝撃火花															1					1	1	
石油給湯器															1					1	1	
器具コード	1	1																			1	
陶芸窯	1									1											1	
不明	13	5	1	1	2		1	1		2	1	3	3		7	2	1	1	1	2	24	
合計	30	14	1	1	5		1	1	1	5	4	9	6	3	45	10	5	13	3	14	88	

救急件数・搬送人員調



月 別 救 急 出 場 状 況

事故種別		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
													月別
1 月	出 場 件 数	394	2	1	28	3	1	48	3	2	284	22	
	搬 送 人 員	370	1	1	32	3	1	47	2	2	261	20	
2 月	出 場 件 数	413		1	46	4		41	1	4	291	25	
	搬 送 人 員	374		1	39	4		40	1	3	263	23	
3 月	出 場 件 数	392	1		52	2	1	35	2	4	260	35	
	搬 送 人 員	359	1		53	2	1	35	2	2	232	31	
4 月	出 場 件 数	356	2	1	34	3	2	46	1	3	244	20	
	搬 送 人 員	328	1	1	31	3	2	42	1	2	229	16	
5 月	出 場 件 数	374			49	6	3	48	2	2	228	36	
	搬 送 人 員	346			57	6	3	46	1	2	205	26	
6 月	出 場 件 数	377	2	1	63	6		46	1	1	229	28	
	搬 送 人 員	355	1	1	59	6		43	2	1	216	26	
7 月	出 場 件 数	451	7	2	58	8	4	66	4	3	277	22	
	搬 送 人 員	427	4	1	59	8	4	63	4	3	262	19	
8 月	出 場 件 数	419		7	51	7	1	63	3	5	262	20	
	搬 送 人 員	390		5	54	6	1	61	2	5	242	14	
9 月	出 場 件 数	392			40	8	3	45		4	267	25	
	搬 送 人 員	363			42	8	3	44		3	245	18	
10 月	出 場 件 数	347		1	53	8	1	46	1	6	203	28	
	搬 送 人 員	327			55	8	1	45		5	190	23	
11 月	出 場 件 数	386	1		58	5	2	41	1	5	246	27	
	搬 送 人 員	347	1		56	5	2	36	1	1	223	22	
12 月	出 場 件 数	484	1		59	5		57	2	4	323	33	
	搬 送 人 員	439			59	5		49	1	4	294	27	
合 計	出 場 件 数	4,785	16	0	14	591	65	18	582	21	43	3,114	321
	搬 送 人 員	4,425	9	0	10	596	64	18	551	17	33	2,862	265

救急自動車による事故種別出場件数及び搬送人員・程度別搬送人員の状況

平成24年中における救急業務の実施状況は、出場件数で4,785件(対前年比△235件4.6%減)、搬送人員で4,425人(対前年比△193人4.1%減)である。(第1表)

1日平均13件出場(1.8時間に1件)の割合で救急車が出場し、管内住民約27人に1人が搬送されたこととなります。

事故種別では、急病による出場が3,114件、2,862人で、全事故種別構成比の61.5%を占めています。

平成24年中の搬送人員4,425人のうち、死亡、重症、中等症の傷病者の割合は全体の51.4%、入院加療を必要としない軽症傷病者の割合は48.6%となっています。(第2表)

(第1表)

事故種別	平成20年中 出場件数 (搬送人員)	平成21年中 出場件数 (搬送人員)	平成22年中 出場件数 (搬送人員)	平成23年中 出場件数 (搬送人員)	平成24年中 出場件数 (搬送人員)	構成比	対前年比
急病	2,647	2,628	2,971	3,198	3,114	65.1%	△ 84
	2,484	2,459	2,763	2,957	2,862	64.7%	△ 95
交通	563	595	554	605	591	12.4%	△ 14
	610	631	584	610	596	13.5%	△ 14
一般	525	515	531	654	582	12.2%	△ 72
	510	484	509	617	551	12.5%	△ 66
加害	30	28	21	27	21	0.4%	△ 6
	26	24	18	23	17	0.4%	△ 6
自損	65	45	41	47	43	0.9%	△ 4
	39	29	26	27	33	0.7%	6
労働	40	46	41	57	65	1.4%	8
	38	45	41	55	64	1.4%	9
運動	27	15	30	24	18	0.4%	△ 6
	26	15	31	23	18	0.4%	△ 5
火災	8	2	6	12	16	0.3%	4
	5		4	4	9	0.2%	5
水難	14	21	10	17	14	0.3%	△ 3
	4	11	2	10	10	0.2%	
自然災害		2		8			△ 8
				6			△ 6
その他	336	302	308	371	321	6.7%	△ 50
	289	268	259	286	265	6.0%	△ 21
合計	4,255	4,200	4,513	5,020	4,785	100.0%	△235
	4,031	3,968	4,237	4,618	4,425	100.0%	△193

(第2表)

区分 事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
急病	107 3.7%	282 9.9%	1196 41.8%	1275 44.5%	2 0.1%	2862 100.0%
交通	11 1.8%	28 4.7%	94 15.8%	463 77.7%		596 100.0%
一般	2 0.4%	38 6.9%	197 35.8%	314 57.0%		551 100.0%
その他	16 3.8%	79 19.0%	224 53.8%	97 23.3%		416 100.0%
計	136 3.1%	427 9.6%	1711 38.7%	2149 48.6%		4425 100.0%

- 注 1 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
 2 重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。
 3 中等症とは、傷病程度が入院を要するもので重症に至らないものを言う。
 4 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
 5 その他とは、医師の診断がないもの等をいう。
 6 事故種別下段は構成比を示し、単位は%である。

救急活動における時間経過について

出場～現場到着までの所要時間は9.6分(対前年比0.4分減)となっており、医療機関収容までの所要時間は50.4分(対前年比0.4分増)となっています。また、救急隊が現場到着してから医療機関収容するまでの時間は約41分である。

注:平成20年3月に救急業務実施状況(国報告)入力に変更があり、従前の指令時刻から入電時間に統一されているため、見かけ上、現場到着所要時間が伸びている。(第3表)

(第3表) 現着・収容所要時間

区分年	出場件数	搬送人員	前年比	転院搬送	構成比	救急車数	出場～現場	出場～収容	参考
平成20年	4,255	4,031		287	7%	9	9.1	45.4	3月入力時刻変更
平成21年	4,200	3,968	△ 55	261	7%	9	9.5	47.9	入電時刻から
平成22年	4,513	4,237	313	253	6%	9	9.5	48	入電時刻から
平成23年	5,020	4,618	507	278	6%	9	10	50	入電時刻から
平成24年	4,785	4,425	△ 235	265	6%	9	9.6	50.4	入電時刻から

(第3-2表) 傷病程度別割合

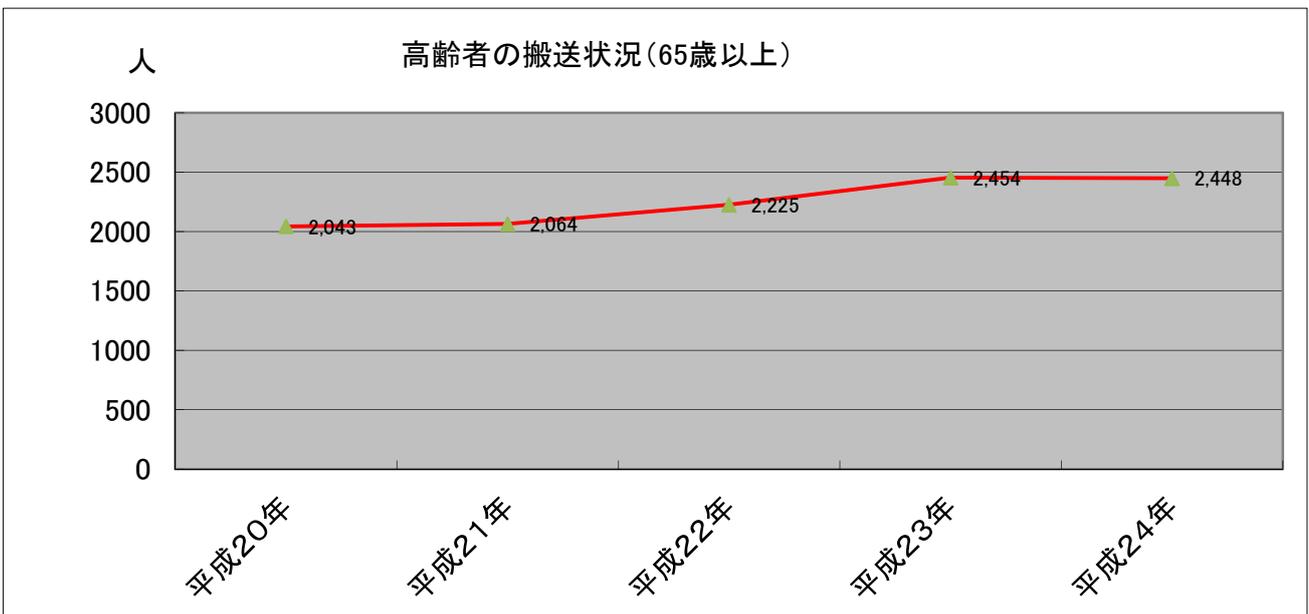
区分年	出場件数	搬送人員	軽症	構成比	中等症	構成比	重症	構成比	死亡	構成比	全体%
平成20年	4,255	4,031	1,944	48%	1,472	37%	497	12%	108	3%	100%
平成21年	4,200	3,968	1,951	49%	1,467	37%	427	11%	122	3%	100%
平成22年	4,513	4,237	2,037	48%	1,643	39%	416	10%	140	3%	100%
平成23年	5,020	4,618	2,227	48%	1,802	39%	449	10%	140	3%	100%
平成24年	4,785	4,425	2,149	49%	1,711	39%	427	10%	136	3%	100%

年齢区分別搬送人員について

年齢区分別搬送人員については、高齢者が最も多く、2,448人(55%)を搬送している。
平成17年以降搬送人員で2,000人を超え年齢構成比では増加傾向にある。(第4表)

(第4表)

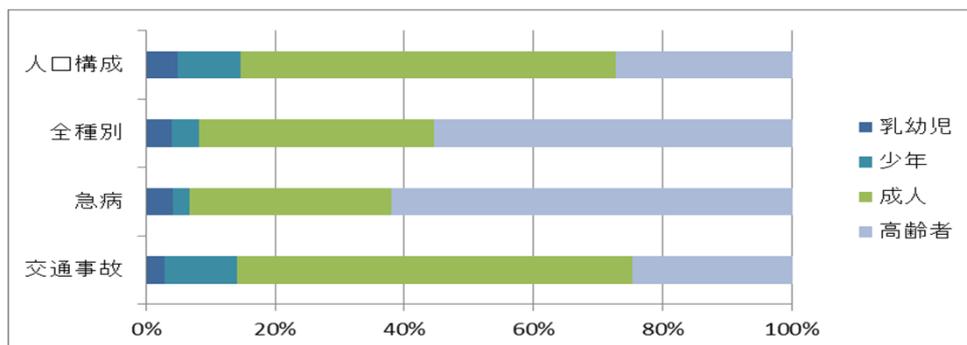
区分 年	新生児	乳幼児	構成比	少年	構成比	成人	構成比	高齢者	構成比	合計
平成20年	4	217	5%	195	5%	1,572	39%	2,043	51%	4,031
平成21年	6	216	5%	196	5%	1,486	37%	2,064	52%	3,968
平成22年	6	216	5%	196	5%	1,594	38%	2,225	52%	4,237
平成23年	4	190	4%	204	5%	1,766	38%	2,454	53%	4,618
平成24年	3	172	4%	191	5%	1,611	36%	2,448	55%	4,425



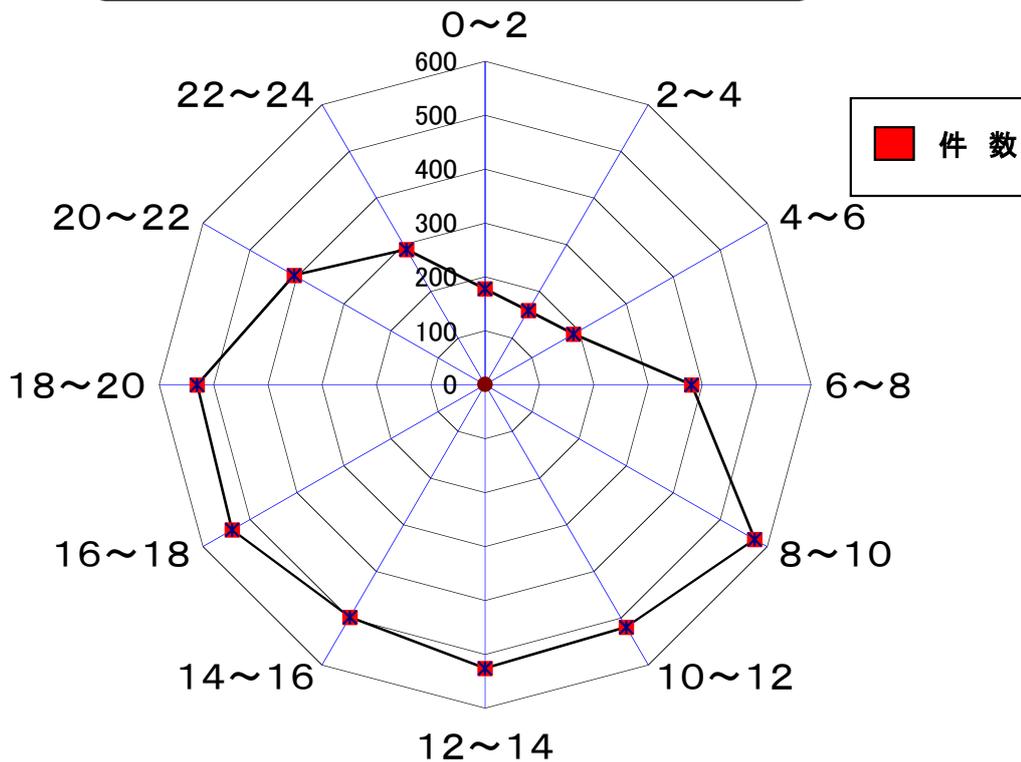
特に急病での高齢者の割合は約60%と高くなっている。

(人口:H25.1.1住民基本台帳)

	乳幼児(人)	構成比(%)	少年(人)	構成比(%)	成人(人)	構成比(%)	高齢者(人)	構成比(%)	合計(人)
交通事故	17	2.9	67	11.2	365	61.2	147	24.7	596
急病	119	4.2	74	2.6	893	31.2	1776	62.1	2862
全種別	175	4	191	4.3	1611	36.4	2448	55.3	4425
人口構成	5,584	4.8	11,202	9.7	66,898	58.1	31,544	27.4	115,228

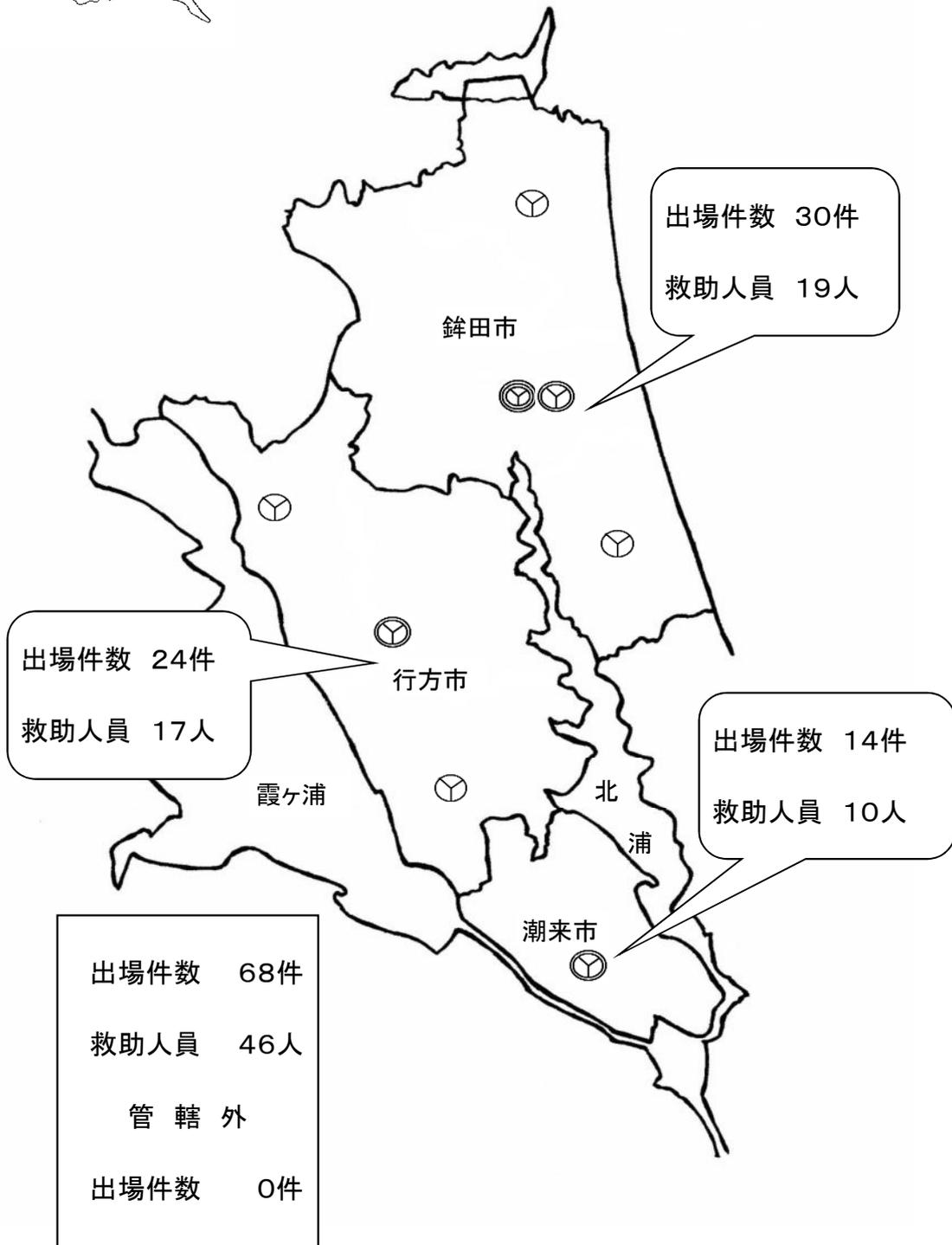


時間別救急出場件数



種別 時間	合計	種別										
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
0~2	178				16	1		11	2	1	141	6
2~4	159	1			12			11	2	1	126	6
4~6	188	4		3	16	1		14		2	143	5
6~8	380	1			63	1		45		6	259	5
8~10	573			1	60	17	2	81	1	6	376	29
10~12	519			5	66	12	5	59		2	304	66
12~14	526	1		1	70	7	3	54	1	5	313	71
14~16	498	1		2	66	13	2	77		4	294	39
16~18	538	2		1	95	9	2	84	1	3	294	47
18~20	530	3		1	71	3	3	58	4	10	355	22
20~22	406	3			36	2		52	5	1	293	14
22~24	290				19		1	32	5	2	220	11
合計	4,785	16	0	14	590	66	18	578	21	43	3,118	321

救助出場・人員調



平成24年の救助概要

平成24年中の救助件数は68件で、昨年より39件減少し、交通事故が52件（77%）と最も多く、次に水難事故7件（10%）、建物等による事故4件（6%）、火災2件（3%）、その他の事故2件（3%）、機械等による事故1件（1%）となっている。

市別に見ると、銚田市30件、行方市24件、潮来市14件の出場となっている。

救助人員は46人で、交通事故37人（81%）、建物等による事故3人（7%）、火災2人（4%）、その他の事故2人（4%）、水難事故1人（2%）、機械等による事故1人（2%）の順になっている。

救 助 出 場 状 況

区 分		合 計	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 等 による 事 故	建 物 等 による 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故
銚田消防署	救助出場件数	30		24	5			1			
	救助人員	19		18				1			
潮来消防署	救助出場件数	14	2	6	2		1	2			1
	救助人員	10	2	3	1		1	2			1
行方消防署	救助出場件数	24		22				1			1
	救助人員	17		16							1
管 轄 外	救助出場件数	0									
	救助人員	0									
合 計	救助出場件数	68	2	52	7	0	1	4	0	0	2
	救助人員	46	2	37	1	0	1	3	0	0	2

H 23 年 中	救助出場件数	107	3	68	16	4	2	5			9
	救助人員	64	2	40	9	1	2	4			6